

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
01.	災害と向き合うために	設定時間	50分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が多く発生するわが国の特徴を理解する。 ・地震・津波と向き合うために必要な取組について考える。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・動画「津波来襲の様子」、「地震の様子」(下記①参照) ・ワークシート(P.95) ・「地震から自分の命を守る」参考資料(下記②参照) 		
教材参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ① 高知県教育委員会「南海地震に備えちよき」教材DVD 平成24年3月 ② 高知県危機管理部南海地震対策課「南海地震に備えちよき」(家庭保存版) 平成23年11月 http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/sonaetyoki-pumphlet.html		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の種類を考える。 <p>〈発問〉 「自然災害にはどんなものがあるか知っていますか？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨 ・洪水 ・台風 ・山崩れ ・地震 ・津波 ・竜巻 ・冷害 ・干ばつ など </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の具体的な事例を紹介しながら説明する。 ・本時は、「地震」にクローズアップして進めることを知らせる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で発生する地震について考える。 <p>〈発問〉 「日本では年間どのくらい地震が発生しているのだろう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・有感地震の数は、約9700回(平成23年) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地震の様子を視聴する。 ・地震によって受ける被害について考える。 <p>〈発問〉 「地震による被害には、どのようなものがあるだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時の行動や、地震への備えについて整理する。 <p>〈発問〉 「地震が発生したら、どのように行動すればいいだろう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・まず頭部保護。その後揺れが収まったら避難 </div> <p>「家庭でできる地震への備えはどんなことがあるだろう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> ・非常持ち出し袋の整備と確認、家具の転倒防止 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去、大きな被害を及ぼした地震を紹介し、地震発生のしくみについて再確認する。 ・南海地震の発生確率についても触れる。 ・DVDで地震の揺れ、津波の様子を確認する。 ・直接被害と間接被害に分けて考えさせる。 ・自然災害の発生は防げないが、災害による被害をなくす努力は必要であることを参考資料を使って認識させる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習のまとめをする。 		
学習指導要領との関連	理科(2分野 (2) 大地の成り立ちと変化) 特別活動, 総合的な学習の時間		

地震・津波から身を守る技能を身に付ける			
02.	心肺蘇生の技能を身に付けよう	設定 時間	100 分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の意義と目的について理解する。 ・心肺蘇生法の手順を理解し、技能を身に付ける。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育教科書 ・参考資料（下記①，②参照） ・心肺蘇生技能講習機材一式 		
教材 参考資料	① 総務省消防庁「救急車を上手に使いましょう」平成23年3月 http://www.fdma.go.jp/html/life/kyuukyusya_manual/index.html ② 日本医師会「大切ないのちを救う心肺蘇生法CAB+D」(CABDカード) 平成24年8月 http://www.med.or.jp/99/seisakubutsu.html		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・「救急車の到着時間」について考える。 〈発問〉 「学校で人が倒れ、救急車を呼んだ場合、到着するまでにどれくらいの時間がかかるだろう」 ・救急車が来るまでにできることとして、心肺蘇生法による救命救急があることを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料で確認する。交通事情によって差があることを補足する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「心肺蘇生法」について知る。 ・AEDについて知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><u>心肺蘇生法(CardioPulmonary Resuscitation; CPR)</u> 傷病者が意識障害、呼吸停止、心停止もしくはこれに近い状態に陥ったとき、呼吸及び循環を補助し、傷病者を救命するために行う手当。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><u>AED (Automated External Defibrillator)</u> 自動体外式除細動器のこと。突然心停止状態に陥った時、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す医療機器。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法の実習を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（又は資料）で確認する。 ・AEDについては実物を示し、平時の設置場所を確認する。 ・「心室細動」について教科書（又は資料）で説明する。 ・手順や手法は更新される場合があるので、実技指導は消防局員又は日本赤十字社員の指導のもと実施する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を振り返り、心肺蘇生法の手順を再確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料で確認する。 ・技能維持のために、定期的に講習を受ける必要があることを説明する。
学習指導要領との 関連	保健体育(保健分野 (3) 傷害の防止) 特別活動, 総合的な学習の時間		

地震・津波の正しい知識を身に付ける			
03.	普通の波と津波のちがい	設定時間	50分
学習目標	・普通の波と津波のちがいが理解できる。		
準備物	・動画「津波来襲の様子」, 「地震の様子」(下記①参照)		
教材 参考資料	① 高知県教育委員会「南海地震に備えちよき」教材DVD 平成24年3月 ② 高知県危機管理部南海地震対策課「南海地震に備えちよき」(家庭保存版) 平成23年11月 http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/sonaetyoki-pumphlet.html		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・普通の波が発生するしくみを考える。 〈発問〉 「波はなぜ起きるのでしょうか？」 普通の波は、主に風によって発生する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・波にも大小あることに気付かせ、なぜそのようなことが起きるかを解説する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・普通の波以外に、海面の変動を引き起こす要因について考える。 〈発問〉 「普通の波以外に、海面に変化を引き起こす要因は何だろう？」 ・台風などによる気圧の変化 ・月や太陽の引力(満潮・干潮) ・津波 ・普通の波と津波のちがいを考え、発表する。 〈発問〉 「普通の波と津波は何が違うか説明できるかな？」 ・発生要因(地震によって発生) ・高さ(波高) ・速さ ・波長(波長) ・家庭保存版「南海地震に備えちよき」を見て、確認する。 ・波浪と津波の大きなちがい ・津波の特徴 ・津波の脅威 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的内容であるので、じっくり思考させる。 ・「津波」は想起しやすいが、他の要因も説明する。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のことがらを、再度説明する(言語活動)。 ・必要に応じ、「プレートのずれ」の動画を見せ、資料で確認する。 ・普通の波と違い、大きな脅威であることを理解させる。 	
まとめ			
学習指導要領との 関連	理科(2分野 (2) 大地の成り立ちと変化) 特別活動, 総合的な学習の時間		

自助・共助の態度を身に付ける			
04.	事業所の備えと関係機関 ～職場体験学習から学ぶ～	設定時間	200分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習をとおして、事業所が南海地震にどのような備えをしているかを調べる。 ・くらしの安全のためにある様々な組織や機関とその役割を理解し、自分にできる活動に参画する態度を身に付ける。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・「職場体験学習のしおり」 ・レポート作成用紙 ・夏休みの課題用紙 ・模造紙など（発表用※） ※プレゼンテーションソフトの利用も可 		
教材 参考資料			
学習活動・留意点			
導入	<p>① 職場体験学習の体験先事業所で、「南海地震への備え」について質問し、「職場体験学習のしおり」にまとめておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所 ・備蓄品 ・お客さまへの対応 ・関係機関との連携 ・防災マニュアル など </div> <p>※体験先事業所での聞き取りがスムーズに進められるように、「職場体験学習のしおり」の構成を工夫しておく（「南海地震への備え」についての記入欄を設けておく）。</p> <p>② 「職場体験学習レポート」に聞き取った内容についてまとめる。</p> <p>※レポートの形式は、文章、新聞など何でも良いが、必ず「南海地震への備え」の聞き取り結果を入れるように指導する。</p> <p>③ ②をもとに、それぞれの体験先事業所の「南海地震の備え」を、班でまとめる。</p> <p>※ 模造紙、プレゼンテーションソフトなどを用いる。</p> <p>④ まとめた結果を発表する。</p> <p>※他の発表方法を用いてもよい。また、視聴後に感想を述べあうとさらによい。</p>		
	展開	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事業所の「南海地震への備え」を復習し、関係機関とのかかわりについて考える。 ・くらしの安全のためにある機関や組織について考え、夏休み中の調べ学習のテーマと内容を決める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>警察署、消防局、気象庁、テレビ局、新聞社、市役所、病院、電気事業者、ガス会社、自主防災会（町内会）など</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> ① どこにあるのか。 ② どのような役割を果たしているのか。 ③ どのような場面で有効に機能するのか。 ④ 自分たちの生活との接点はどこにあるのか。 など… <ul style="list-style-type: none"> ・設定したテーマ、内容に沿って夏休み中に調査をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表を振り返る。 ・事業所と関係機関とのかかわりは、わたしたちのくらしの安全に直結していることに気付かせる。 ・どんな機関（組織）の何について調べるのかをあらかじめ決定し、夏休み中に行うべきことを明確にしておく。 ・自ら出向き、取材を行わずとよい。（職場体験学習の際の、「アポイントメント」の必要性について復習しておく）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・調べてきた内容を共有しあう。 ・気付いたことをまとめ、感想をまとめる。（自分にできることは何かを考え、まとめる。） 		
学習指導要領との 関連	社会(地理的分野 (2) 日本の様々な地域 イ 世界と比べた日本の地域的特色 (ア) 自然環境) 特別活動, 総合的な学習の時間		

地震・津波から身を守る技能を身に付ける			
05.	安全な避難のために ～ガラス飛散防止フィルムの貼付～	設定時間	100分
学習目標	・様々な製品に使われている材料の特徴を知り、災害に備える技能を身に付ける。		
準備物	・技術・家庭（技術分野）教科書 ・技術・家庭（技術分野）ノート ・ガラス飛散防止フィルム ・練習用ガラス窓（枠付き）		
教材 参考資料			
学習活動		留意点	
導入	・学習目標を確認する。 ・身の回りにある製品と材料の関係を考える。 〈発問〉 「製品をつくるための材料はどのような理由で選ばれているのだろう」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ・耐久性 ・価格 ・再利用 ・重量 ・加工 ・安全性 ・デザイン（周囲との調和） ・供給力 </div>	・教科書をもとにすすめる。 ・身近な製品を示し、材料選択の必然性への気付きを促す。	
展開	・木材、金属、プラスチックの特徴について考える。 〈発問〉 「木材、金属、プラスチックが用いられている製品から、これらにどんな特徴があるかを考えてみよう」 ・木材、金属、プラスチックの特徴をノートにまとめる。 ・身の回りの製品に用いられる、その他材料について考える。 〈発問〉 「他にどんな材料があるかな？」 → <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">・布、ゴム、ガラス など</div> ・ガラスの特徴について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> ・透明である ・適度な硬さがある ・割れる ・加工しにくい </div> ・「割れる」というガラスの特徴がもたらす危険について考える。 〈発問〉 「もし大きな地震が発生したら、ガラスはどうなるだろう」 「ガラスが割れることによって、どんな影響が出るだろう」 ・ガラス飛散防止フィルムについて知り、地震への備えについて考え、ガラスへの貼り方を聞く。 ・班ごとにガラス飛散防止フィルムを貼る練習をする。	・「もし、それ以外の材料でできていたらどうなるか」を考えさせても良い。 ・廊下など、随所に設置されているガラス窓の危険性に気付かせる。 ・施工を演示する。	
まとめ	・学習のまとめをする。	・家庭での実践を促す。	
学習指導要領との 関連	技術・家庭(技術分野 A 材料と加工に関する技術) 特別活動, 総合的な学習の時間		

自助・共助の態度を身に付ける			
06.	「稲むらの火」	設定時間	50分
学習目標	・先人の教えに学び、主体的に災害に備える態度を身に付ける。		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・動画「津波来襲のようす」、「地震の揺れ」(下記①参照) ・ワークシート (P.96) ・読み物資料「稲むらの火」(文部省国定教科書版書下し 下記②参照) ・読み物資料「濱口梧陵の功績」(下記③参照) 		
教材参考資料	① 高知県教育委員会 「南海地震に備えちよき」教材 DVD 平成 24 年 3 月 ② 総務省消防庁 「稲むらの火」(文部省国定教科書 書下し) www.fdma.go.jp/html/life/jisyubousai/hp/pdf/inamura.pdf ③ 和歌山県広川町 稲村の火の館「濱口梧陵記念館」「津波防災教育センター」 http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/siryoinamura.html 【参考】 河田恵昭「百年後のふるさとを守る」 小学校5年「国語」 光村図書		

学習活動		留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・津波の様子を視聴し、本時の学習への導入をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・稲束の実物を提示しても良い。 ・範読する。 ・既習事項も含めて資料から読み取らせる。 ・「潮が引く」現象は、必ず起きるものではないことを補足する。 ・民話は史実がもとになっており、単なる作り話ではないことを補足説明してすすめる。 ・被災後の村の様子に着目してすすめる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「稲むら」について知る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・稲束のこと ・収穫後に積み上げた藁束を「稲むら」と呼ぶこともある </div> ・資料「稲むらの火」(国定教科書版)を読む。 ・感想を発表する。 ・五兵衛の一連の行動から、津波の特徴を想起させる。 〈発問〉 「五兵衛の行動から、津波にはどんな特徴があると考えられますか」 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・来る直前に潮が引く(場合がある)。 ・非常に早いスピードでやってくる。 ・押し波、引き波が繰り返される。 </div> ・稲むらに火を付けるという五兵衛の行動にある「思い」を考える。 〈発問〉 「五兵衛はどんな思いで稲むらに火をつけたのでしょうか」 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・どんなものも命にはかえられない </div> ・資料「濱口梧陵の功績」を読む。 ・史実としての「稲むらの火」を知り、感想を発表する。 〈発問〉 「梧陵さんの行為について、どのように思いますか」 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・「稲むらの火」から、学ぶべきことは何かを考える。 〈発問〉 「『稲むらの火』の話は、私たちにどのようなことを教えてくれているのだろう」 	
学習指導要領との 関連	道徳(2-(2), 3-(1), 4-(2), 4-(5), 4-(8)) 国語(C 読むこと)	

地震・津波から身を守る技能を身に付ける				
07.	災害と栄養	設定時間	50分	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に摂取しにくい食品の特徴を知る。 ・栄養状態を改善する方法を考える。 			
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・技術・家庭（家庭分野）教科書 ・技術・家庭（家庭分野）ノート ・ワークシート（P.97） 			
教材参考資料				
学習活動		留意点		
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・体内で栄養素が果たしている役割について復習する。 ・中学生に必要とされるエネルギーや栄養素の量を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">食事摂取基準</div>		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書をもとにすすめる。 	
	展開	<ul style="list-style-type: none"> ・食事摂取基準を満たすために必要な食品とその量のめやすを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">食品群別摂取量のめやす</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「昨日の夕食の献立」から、自分が摂取した栄養素の量を概算する。 ・その中で、災害時に摂取しにくい食品について考え、ワークシートに記入する。 <p>〈発問〉 「災害時に摂取しにくい食品例を食品群ごとに考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に摂取しにくい食品の特徴を考え、ワークシートに記入する。 <p>〈発問〉 「災害時に摂取しにくい食品にはどんな特徴があるか考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の栄養課題について考える。 <p>〈発問〉 「災害によって、栄養にどんな問題が起きると考えられるかな？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・夕食では食品数が少ない場合は、「1週間分の食事メニュー」など、品目を多く設定するとよい。 ・グループ協議などを行っても良い。
		まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の栄養の課題を改善する方法を考える。 <p>〈発問〉 「災害時の栄養の問題を改善するにはどうしたらいいかな？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の予告を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">緊急時の災害食献立と調理計画</div>	
学習指導要領との関連			技術・家庭(家庭分野 B 食生活と自立)	

自助・共助の態度を身に付ける			
08.	「語りかける目」	設定時間	50分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家族を大切に思う心情を育てる。 ・生命の尊さを理解し、自他の生命を尊重する態度を育てる。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物資料（下記参照） ・ワークシート（P.98） ・近畿地方の地図 ・なべ 		
教材参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・廣済堂あかつき 中学生の道徳 第1学年「自分を見つめる」 【元著】兵庫県立舞子高等学校「1.17 震災メモリアル2004」 神戸大学名誉教授 杉山 明男 「阪神・淡路大震災の発信と継承」 http://www.hyogo-c.ed.jp/~maiko-hs/memorial/2004/m2004_03-10.htm#eye 		
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を確認する。 ・兵庫県南部地震について知る。 <p>〈発問〉 「みんなが生まれる前、神戸や淡路島を襲った大地震があったことを知っていますか？」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成7年1月17日 午前5時46分 ・約5,600人が亡くなる ・引き起こされた災害は「阪神・淡路大震災」と呼ばれている。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・被災体験がある近親者がいる生徒などから、伝え聞いていることなどを話させるとよい。 ・修学旅行で震災学習を行っている場合、その学習を思い出させる。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・地図で、被災地域を確認する。 ・資料を読む。 ・内容の整理をする ・「ありがとう、もう逃げなさい」と、母が手を放した場面について考える。 <p>〈発問〉 「お母さんはどんな気持ちで『ありがとう。もう逃げなさい』と言って手を離したのだろう」</p> <p>「少女はどんな思いで手を放して逃げたのだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母の骨を「なべ」に入れ、守り続けている少女の気持ちを考える。 <p>〈発問〉 「少女はどんな思いでお母さんを『なべ』に入れて守り続けているのだろう」 「お母さんは死んでしまっているのに、『一緒に生きる』とはどういうことだろうか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・範読する。 ・登場人物、周囲の状況などを丁寧に整理する。 ・他の人の考えを聞くことで、さらに考えを深められるようにすすめる。 ・母親の立場から、極限状況でわが子を思う母親の深い愛情を考えさせる。 ・「なべ」を提示する。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が同じ状況に置かれたときどう行動するか、自分のこれからの生き方を重ねて考える。 ・少女の生き方から学んだことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険予測トレーニングの振り返りなども参考ににする。 	
学習指導要領との関連	道徳(2-(2),3-(1),4-(6))		

自助・共助の態度を身に付ける			
09.	災害時の食事について考えよう	設定時間	100分
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 避難生活における栄養や調理法に配慮した調理計画を立てることができる。 避難生活における共助の態度を身に付ける。 		
準備物	<ul style="list-style-type: none"> 技術・家庭（家庭分野）教科書 技術・家庭（家庭分野）ノート ワークシート（P.99） 		
教材 参考資料			
学習活動		留意点	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標を確認する。 避難生活における栄養問題について復習する。 		
展開	<ul style="list-style-type: none"> 避難生活時の食事の準備について問題点を考える。 <p><発問> 「避難所で食事の準備をする際に、どんなことが問題になるだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事の計画（「献立」）についてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>食事の計画や調理の組み合わせを「献立」という。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 避難所で食事の献立を考える際の注意点（条件）を考える。 <p><発問> 「避難所で食事の献立を考える際にどんなことに注意が必要だろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な調理例とそこから得られる栄養素（食品群）を考える。 <p><発問> 「避難生活時でも簡単に調理可能な食事（調理例）を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 調理計画を立てる。 <p>※題材は、生徒や学校、地域の実態を考慮して設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>乾燥保存食、レトルト保存食、乾麺、季節の野菜、地域の特産品などを考慮する。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> 避難直後は、調理ができる状況にはないことを補足し、本時は、「避難後、一定の時間が経過し、公的支援が入る前までの間」を想定してすすめる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 次時の予告を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>避難所での調理環境と栄養バランスに配慮した調理実習</p> </div>		
学習指導要領との 関連	技術・家庭(家庭分野 B 食生活と自立)		